

がん教育の授業〈6年〉R6.1.19（金）3校時

「NPO法人がんサポートかごしま」の理事長の 三好 綾(みよし あや)様に
来ていただきました。「がん」の病気について、御自身の病気や関わった方々の
ことなど、自らの体験を交えて話をしてくださいました。また、講話を通して、
「いのち」について考える時間にもなりました。



事前に出された子供たちの質問に答える形でお話してくださいました。

「がん」といっても症状や治療法が多様であること、がんになった三好さんが多くの人のおかげで乗り越えられたことなど、がんに関わる色々なことを話してくれました。子供たちは、初めて知ったことも多かったようでした。



スライドで、がん患者の方のお話を聞きました。「あなたはあなたのままでいいんだよ。」というメッセージを紹介していただき、一人一人がそのことについて、考えました。

感想を発表した後、最後に三好さんから、「今日の話をお家の人に伝えてください。」「『死ね』という言葉を使わないでください。」「これまで生きてきた自分を褒めてあげてください。」という約束のお願いがありました。

子供たちの感想(三好さんへのお手紙)から ※一部抜粋

【子供たちが一生懸命話を聞き、子供たちなりに真剣に考えた様子が感じられます。】

- 様々ながんの種類や治療法があることが分かりました。
- 健康に気を付けたいです。30代40代になったら年に1回は検診を受けたいです。
- がん患者を見たら「かわいそう」ではなく。「治療をがんばっているんだ。」と思い、応援したいと思います。
- 大人になってがんになっても、希望をもって、生きることをあきらめないようにしたいです。
- がんになって髪の毛が抜け、帽子やかつらをかぶっている人を見たら、ばかにしないで応援してあげたいです。からかったりかわいそうと思ったりするのではなく、頑張っているのだなと思いたいです。
- 「死ね」という言葉は、冗談でも言ってはいけなかったと思いました。これからは言葉遣いも気を付けていきたいです。命の大切さを考えて毎日を大切に生きていこうと思いました。
- 今日習ったことを家族や身近な人に教えたいです。
- がんは治らない病気だと思っていたけど、治ることが分かり、ほっとしました。
- どのように、がんや命に向き合うかということが分かりました。これからは命を大切に、がんの人にもやさしくしていけたらいいと思いました。
- がんになったり、つらいことがあったりしても、上水流さん（講話で紹介されたがん患者の方）のように前向きな心で乗り越えて行けるようになんぼりたいです。
- これからの悩みなどを人に話す勇気ももらえた気がします。話すだけでなく、話を聞いてあげられる人にもなりたいです。がんに関する知識だけでなく、命の大切さ、尊さなどを丁寧に教えていただきました。これからはもっと前向きに生きていこうと思います。
- 大人になってがんになってしまったらどうしようと考えていましたが、三好さんのお話で少し安心することができました。
- 消えてしまいたいなと思ったことはありました。でも、三好さんのお話を聞いて、本当にホッとしました。命を大切にしようと思いました。

